

## 道民の森「水源の森」での令和3年植樹祭

令和3年10月14日(木)、当別町の道民の森・神威尻地区「水源の森」において、北海道森林土木設計協会主催の「令和3年植樹祭」に、当社から営業課長補佐山下拓人、樹木医木戸口和裕の2名が参加しました。

「水源の森」は、道民の森・神威尻地区牧野跡地に、北海道が水源かん養機能の回復・維持等を目的に、道民参加・協力による「協働の森づくり」のシンボリックな取り組みの場として位置づけられ、「水源の森づくり」が行われています。

北海道森林土木設計協会では、この趣旨に賛同するとともに、北海道が有する豊かな地域資源を最大限に活用しながら、脱炭素化と経済の活性化や持続可能な地域づくりを同時に進める「ゼロカーボン北海道」に向け、実現を目指す協力活動としています。



植樹祭開会式

新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が9月30日に終了し、日が浅い時期でありましたが、このイベント開催を決定した事務局の英断に頭が下がります。



植樹状況

植栽した樹種は、アカエゾマツ、ミズナラ、シラカバ、ハンノキです。スコップを片手に、マスク着用で、原則「黙植」で1人7本程度を植えました。

新型コロナウイルス感染症の対応で閉塞感が漂う中、日々過ごしてまいりましたが、それらを一掃するかのような青空の下、心地良い汗をかきました。